

メロスの苦悩は、太宰の苦悩。

一人で 演じる 走れメロス

音楽劇

芝居屋 杜川リントロウ

「人が人を信じる事」とは一体どういうことなのか…
太宰の葛藤は、メロスの葛藤。

人間というものはどういうものか。

この作品の着想には、熱海で太宰自身が金に困り友人を人質にし、
借金の為に井伏鱒二の元へ走った実際の出来事が関係していると言われています。

(…結局、太宰の場合は戻ってこなかったのですが…)

その経験を元に、太宰は繰り返していた自殺心中未遂やその他の体験など、
自身の人間としての弱さ、罪の意識、葛藤をこの作品に詰め込んで書き上げました。

老爺の話を聞いた途端、頭に血が上がり、一時の感情で王の暗殺を企てるメロス。
王に死ぬ覚悟は出来ている、と威勢良く見得を切りながらも、妹を思い出してそれを翻すメロス。
約束のため、何も知らない親友のセリヌンティウスを自分の身代わりに突然差し出すメロス。
自分で自分の事を勇者だ、立派な人間だと言いながら、平気で寝坊をするメロス。
しまいには猛烈な自己弁護を繰り返しながら、揺らぎ、諦めかけるメロス…
落ち着いて原作を読んだなら、メロス、お前はなんという酷い奴！
しかし、それでもこのメロスという男は魅力的なのが面白いところです。

そんな原作に忠実に、体当たりで挑むのが本作、
「一人で演じる走れメロス」。

とにかく、走る！ 走る！ 走る！

メロスはやっぱり考えるより走らなければいけません。

死ぬほど走るうちに、メロスの気持ちも、太宰の葛藤も、
全部まとめて乗り越えて「何か大きく恐ろしいもの」が見えてくると思うのです。

人が人を信じるということ、

果たしてそれは本当に可能なのか。

「信じる」、その言葉を発した瞬間から、
裏切りは始まっているのではないのだろうか？

そんな事を問いかける太宰の声に、

バカ正直に正面から応えてみようと思います。

是非、僕と一緒に走りましょう！

杜川リントロウ

NPO法人おやこ劇場松江センター 第66回高学年例会

日時:2022年5月14日(土) 開場18:40 開演19:00

会場:島根県民会館多目的ホール1・2

対象:小4～おとな (小3以下は入場できません)

※託児があります(無料) 5月6日(金)までにお申込み下さい

参加費: この作品のみ観る 4,400円

入会して観る 月会費1,300円+入会金500円+保険100円

主催: NPO法人おやこ劇場松江センター

松江市中原町71番地 Tel/Fax: 0852-22-4937

E-mail: oyakomatsue@gmail.com

web申し込みは
こちらから→

当日入会できます



共催: 島根県・島根県教育委員会・松江市・松江市教育委員会・
松江市文化協会・島根おやこ劇場ネットワーク